

東山砲台の跡について

地図上には現在、東山という記述はなく砲台跡の場所は「西緑地公園」「泉原病院」と記述してあります(別写真の「東山砲台の跡」の看板は現地に設置してあるものではなく説明のためにパソコン上で作成した看板です)

昭和19年には、**12.7センチメートルの連装高角砲2基が山道を挟んで設置されていましたが**、北側の一基は現在、泉原病院の敷地となり、病院の**施設が建設されたために昔の面影は消滅**しています。一方、南側の一基の場所は京都大学の演習林(現在は西緑地公園)だったために、**砲台の跡が若干たりとも残っています**。また、西緑地公園内にはボランティア活動で公園内の整備を実施されておられるグループがありますが、この場所の砲台跡を含め公園内の「戦争遺跡の場所」に関しても現在、整備作業を実施しておられます。

尚、周南地方の戦争遺跡に関しては「**周南の戦争遺跡(著者:工藤 洋三) @950円**」の冊子に写真入りで詳細に掲載されています(文責: T.S)